

## 統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 産業連関表の作成・分析	講義科目	産業連関表の考え方	講義時間	5コマ
講師	居城 琢 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院准教授				

※1コマ70分

### 講義のねらい

産業連関表の基本的な仕組みを理解した上で、地域間・国際表など幾つかの産業連関表を比較検討する中で、産業連関表の見方・考え方を学ぶ。それを踏まえて、産業連関表を使った産業連関分析の初歩と分析結果の見方を学習する。また、国民経済計算・県民経済計算と産業連関表の関係について学ぶことで、両者の推計・作成の関わりについて理解する。

### 指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 産業連関表の仕組み	1.1 産業連関表の概要・見方 1.2 産業連関表の歴史（ケネーの経済表等） 1.3 各国における産業連関表作成 1.4 国際産業連関表の作成・公表（近年の動向） 1.5 異なる時点の表の接続—接続表について 1.6 異なる地域の表の接続—地域間表について
2. 行列計算の基礎	2.1 ベクトルと行列 2.2 行列の足し算・引き算・掛け算・逆行列
3. 均衡産出高モデルの理論と演習	3.1 産業連関表の概要 3.2 3部門表を使った計算例(1) 3.3 平成23年108部門表を使った計算例(1) 3.4 移輸入内生モデル 3.5 3部門表と使った計算例(2) 3.6 平成23年108部門表を使った計算例(2) 3.6 レオンチェフ逆行列の見方（影響力係数・感応度係数） 3.7 地域間・国際表の計算例と見方 3.8 仮説的抽出法（特定産業・地域の影響分析）
4. 国民・県民経済計算の役割と産業連関表	4.1 国民・経済計算の体系（産業連関表に関わる部分を中心に） 4.2 国民・県民経済計算推計と産業連関表作成 4.3 国民経済計算における産業連関表の位置づけ 4.4 コモディティ・フロー法

講義形態 指導方法	講義およびパソコンを用いた演習
受講に必要な 基礎知識等	エクセルを扱えることが望ましい